

7月20日：ベトナム株は大引けにかけて上昇

下値支持線付近で投資家の買いが増えたことで、ベトナム株は大引けにかけて力強く反発した。

ホーチミン市場のVN指数は2.39%高の1,273.29ポイントで取引を終えた。同指数は前日4%を超える下げだった。

一方でハノイ市場のHNX指数も3.1%高の301.11ポイントだった。同指数は前日5.1%下げていた。

しかし出来高は大きく減少した。両市場（ホーチミン、ハノイ市場）の売買高は前日比21.6%減の6億7500万株、売買代金は前日比17.4%減の20兆4,000億ドン（8億7,760万米ドル）となった。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、418銘柄が上昇、150銘柄が下落、235銘柄は変わらずだった。

vietstock.vnによれば、全25業種のうち24業種が買われた。上昇率トップは証券株で、その平均上昇率は6.22%だった。

上場する証券株26銘柄のうち、23銘柄は2~9%上昇、1銘柄のみ下落した。上昇率トップはSSI証券（SSI）で、この日7%のストップ高を付けた。SSIの終値は57,700ドン（\$2.49）だった。

保険、銀行、小売、建設資材、プラスチック、製造といった他の業種も堅調に推移した。

ホアファットグループは6.8%上昇し、VN指数の値上がり寄与度トップだった。

値上がり寄与度トップ10のうち、4社が銀行株だった。ベトコムバンク（VCB）+3.3%、ベトナム投資開発銀行（BID）+3.4%、テクコムバンク（TCB）+3.1%、アジア商業銀行（ACB）+5.4%がそれに含まれた。

他にもビンホームズ (VHM) +2.2%、ベトナムゴム工業グループ (VGR) +5.5%、ペトロベトナムガス (GAS) +2.7%、マサングループ (MSN) +3%、モバイル・ワールド・インベストメント (MWG) +5.2%が大きく買われた。

VN 指数は今月初旬から7回下落して取引を終えている。そのうち2回は4%近く下落した。多くの銘柄が大きく売られ、投資家の底値買いを引きつけている。

「1,205 ポイント付近は、短期的に VN 指数の力強い下値支持線になる。VN 指数がこの下値支持線付近まで下げれば、底値買いの資金需要は大幅に増加し、マーケットの反発を助ける可能性がある」 (ベトドラゴン証券の株式アナリスト、Phuong Nguyen 氏)

「投資家は一時的に売りをやめるのが良い。そして VN 指数が強力な下値支持線である 1,205 ポイントまで下げたら、優良株の買い増しを検討するのが良いだろう」 (同氏)
外国人投資家による売買は、市場によってまちまちだった。ホーチミン市場では 3,082 億ドンが売り越され、ハノイ市場では 3,430 億ドンを買越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。